



ウェルビーイングな日々

no 9

■世界は広くいろいろな国がある。「そんなことは知っている」つもりでしたが、学校に行けない子どもたちがいること、学校へ片道何時間もかけて歩いて通っている子どもたちがいることを改めて知りました。

■インドの大都市ムンバイでは地方からの移住者が多く、家計を助けるために働き、ほとんど学校に通えない子どもたちがいるそうです。その子どもたちに教育を届ける斬新な取り組みが新聞で取り上げられていました。地元の NGO 法人による「ドアステップ・スクール」による巡回授業です。

■バスの中は、座席が取り外され、布を敷いた床に子どもたちは座り、ヒンディー語や英語・算数・道徳などの授業が行われています。学ぶのは7～14歳の子どもたちで申し込み不要、無料です。2時間の授業が終わるとバスは次の場所へ移動します。この巡回授業で多くの子どもたちが読み書きできるようになったそうです。知ること・学ぶことの喜びを知り、そして、もっと知りたい、もっと学びたい、という学びへの意欲へとつながったはずです。子どもたちの食い入るような真剣な眼差し、好奇心に満ちたキラキラした瞳、喜びにあふれた笑顔が浮かびます。

■現在の日本は、学校教育が保障され、また、学びたいという意欲や知的好奇心はいろいろな方法で満たすことが手軽にできる国です。しかし、世界にはあえて努力し、工夫しなければならない国もいまだにあるのです。

■1998 年、この巡回授業の取り組みに、最初にバスを寄贈したのはムンバイの日本総領事館だそうです。

